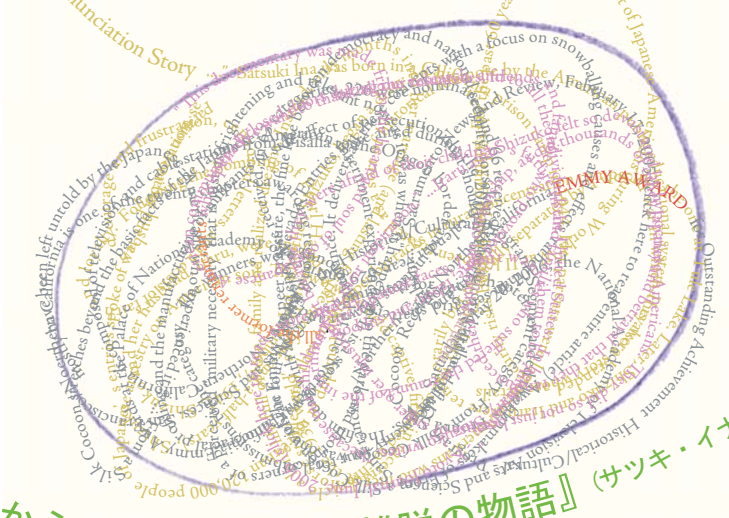


# 「収容所」 という暴力の現実

camp  
— 「キャンプ」の過去 / 記憶 / 現在 —



『絹の繭から一日系米人国籍離脱の物語』(サツキ・イナ監督作品)を観る

第二次世界大戦時に「日系米人」がキャンプに収容されたことは、現在ではよく知られている。だが、その過程とその後において、どのような辛苦を人々が味わったのかを、わたしたちはどれほど知っているだろうか。今回のフィルムセッションでは、日系人収容所を題材としたドキュメンタリー・フィルムを観ることを通して、「キャンプ」の過去 / 記憶 / 現在について考える機会を設ける。

今の世界の「人権」を考えるフィルムセッション 第5回(2007年度 第2回)

■日時：2007年 11月 26日(月) 15:15～18:30

■場所：関西学院大学 上ヶ原キャンパス 図書館ホール

■トーカー：

田中 きく代 (関西学院大学 文学部)

山本 剛郎 (関西学院大学 社会学部)

■ナビゲータ：

阿部 潔 (関西学院大学 社会学部)

一般公開・参加無料

お問い合わせ

関西学院大学 人権教育研究室

Tel. 0798-54-6720

E-mail. masahi@kwansei.ac.jp